

小島忠義の
議会通信

“かけ橋”

No.13



糸島市は地域資源の宝庫です。



誕生した糸島市は人口約10万800人。

これは県内第7位で、面積は216km²で

旧前原市の約2倍になり県内第6位です。

中核都市を形成するまでになりました。「魏志倭人伝」に記されている「伊都国」があった地で、アジアの玄関口として歴史とロ



マン溢れる誇れる古里だと言うことは誰もが認める事だと思います。

糸島市での初議会が3月8日～3月29日まで開催され、財政難等の課題を抱えながらも力強く1歩を踏み出しました。

糸島市は市民が主役のまちづくりを目指し、地域主権を推進します。

具体的には「糸島市協働のまちづくり推進条例」を制定し、市民、市及び議会それぞれの役割を明らかにしました。

議会の果たす役割として議会が保有する情報を積極的に公開し開かれた議会の運営に努める事と定めています。これは重要な事ですが、今後更に市民の皆さんにわかり易く身近に感じてもらうため又議会及び議員の質の向上のため「議会基本条例」が必要であると私は考えています。実現に向けて全力で頑張ります。

2つ目として市民税(約40億)の1%(約4千万円)を校区まちづくりの活動費として市内15校区に配分し、校区毎の特色ある活動を支援する事を決定しました。



さまざまな効果が期待出来る校庭の芝生化を試験的に南風小で実施します。

期待される効果とは？

- ①環境への負荷低減が見込める。
- ②気温の調節が出来る。
- ③環境教育の教材となり得る。
- ④体育活動の活発化が期待出来る。
- ⑤砂塵飛散防止に有効。
- ⑥騒音の削減が見込める。



等の効果が期待出来るうえに数値に表れない教育上・健康上の効果があると思われま
す。課題もいくつか考えられるので今回の試験施工で解決策を見出して欲しいと期待
しています。

早寝🌙・早起☀️・朝ご飯🍴が大事な理由

食生活の乱れは、子どもの体力低下はもちろん学
力にも大きな影響を与えます。朝食を摂取している
生徒は学習成績が良く、逆に朝食欠損の生徒は成績
が悪いとの相関関係が明らかになっています。又、
夜更かしをするなど夜型の生活が続くと時差ボケ
のような状態になり、体調をくずしたり意欲が低下
したりします。睡眠障害等に有効なメラトニンというホルモンは夜間に昼間の10



倍以上分泌されます。早寝・早起きすることで
健やかに1日を過ごすことが出来るのです。「**早
寝早起き朝ご飯国民運動**」が全国的にも
展開され始めました。新生糸島市においても
市を挙げて取組む事が必要ではないかと思
います。ご意見お聞かせ下さい。



伊都文化会館が良くなったと思いませんか。

伊都文化会館の管理は市の管理公社が行っていたものを昨年の平成21年4月から指定管理者制度を導入して（株）福岡市民ホールサービスという会社が運営管理を行なっています。この会社は博多座や福岡市民会館等の施設も手掛けており、いわゆるプロ中のプロが



運営しているのです。舞台の大道具、小道具から照明に至るまで洗練されたものになったと私は感じています。指定管理者制度を採用して民間に委託したことによる効果は他にもあります。財政面です、以前は市が運営する管理公社が管理していましたが今回の民営化により800万円以上の運営管理費が削減されました。内容が良くなってコストは下がる、民間委託の模範的な例です。市はこれからもあらゆる事業をチェックし、民間に委託出来るものは民営化の検討を行なう必要があります。そしてその効果の確認は行政はもちろんの事、市民の皆様と私達議会が厳しい目でチェックすることです。民間委託による運営が健全に行なわれることは、最終的に我々市民の利益につながります。

糸島市誕生記念イベントが決定しました。

♪ NHKのど自慢大会が伊都文化会館にやって来る事になりました。

開催予定日 6月27日(日)、予選を通過した20組が出場出来ます。

♪ 記念式典&異都ジャズフェスティバルの開催で高祖神楽と福井神楽に中国の楽器演奏等との競演です。

開催予定日 8月8日(日)、伊都文化会館や中央公園等で実施される予定です。

♪ 世界の王さんをリーダーにしたプロ野球名球会の元プロ選手がやって来ます。野球教室や地元選抜チームとの交流試合を行なう予定です。

開催予定日 9月19日(日)、曲り田野球場と一貴山小学校が会場になります。いずれの企画も楽しみです。期待しましょう。

糸島市活性化への私の提案



悲願の合併により誕生した糸島市もスタートして4ヶ月余り。課題の1番手は財政難の改善です。市民の皆様からの多くの要望に応えるためには財政力の向上が必要不可欠です。

財政運営の基本は「入りを量りて出づるを制す」ですが、これは皆様の家計と全く同じです。

不景気になれば当然のことながら収入が減ります。乗りきるために家計の支出を点検し無駄な出費を押さえる努力をします。行政も同じで、国からの仕送りである地方交付税は減り続け、自前の財源である市税(市町村民税、固定資産税)も不況を反映して減少傾向(前年対比-3.2%)にあります。

このまま何もせず手をこまねていけば第2の夕張候補となりかねません。

出づるを制する方策として行政は行財政改革に取り組み、市長の公約では4年間に50億の歳出削減計画を立てています。

Q 入りを量るいい対策は？

A 企業誘致も確かに必要です。企業誘致に成功すれば、雇用の場が確保され法人市民税に固定資産税の増収が期待されるからです。市も企業立地課を中心に誘致活動を展開していますが昨今の経済状況下では進出企業も簡単には見つかりません。

地域資源を活かした糸島市の活性化策が今必要なのです。合併した今こそ糸島の良さを強力にPRし活性化につなげるのです。

Q 何を？

A 糸島の持つ地域資源—素晴らしい自然環境、ロマン溢れる歴史と文化、新鮮で安心安全の農海産物の生産基地そして福岡市に隣接しているアクセスの良さ。この宝物といえる地域資源を起爆剤にした観光・体験イベントを開催することです。

赤米と田んぼアート観賞会をメインに野外コンサート開催と共にそば打ち体験や竹炭焼に木工芸等の体験コーナー、そして地元物産の試食即売会を企画するのです。赤米と田んぼアート作りはすでに実行されている方が地域にいらっしやると思います。市民と行政が一緒になって“オール糸島”を演出するこの企画、楽しそうだと思いますか。実現に向けて研究を重ねたいと思っています。皆様のご意見、お待ちしております。



田んぼアートの実施例

4月よりホームページを開設しました。“かけ橋”同様出来るだけ多くの情報を皆様にお届けしていきたいと考えております。今後共よろしくお願ひします。

ホームページアドレスは<http://www.kojima-tadayoshi.com>です。

誇れる古里・糸島に
新しい風を！
皆様のご意見、ご要望を
お聞かせ下さい。



小島忠義事務所 TEL.092-322-0155

〒819-1112 糸島市浦志2-5-20

携帯:090-7441-9689 FAX:092-322-4900

E-mail:info@kojima-tadayoshi.com HP:<http://www.kojima-tadayoshi.com>